

若手農家が本気で考えた政策提案

Shiriuchi Unity Agri Project

～地域一体型農業で豊かな町に～

しりうち いら



JA新函館知内地区青年部

北海道南端渡島半島に位置する小さな町

知内町は、北海道南渡島に位置する人口4千人ほどの小さな町です。
津軽海峡に面して平野や段丘地が広がり三方を山岳に囲まれている自然豊かな地であり、
農業、林業、漁業などの**第一次産業が発展**しています。
特にニラ「**北の華**」は北海道内のニラの生産量**第一位**を誇っています。

人口	4,167人 (2020年 国勢調査)
面積	196.75km ² (全道比0.24%)
特産品	ニラ、カキ、マコガレイなど
名所	知内温泉、青の洞窟など



海峡で育つ旨味
「知内かき」



北海道生産量NO.1
「北の華」



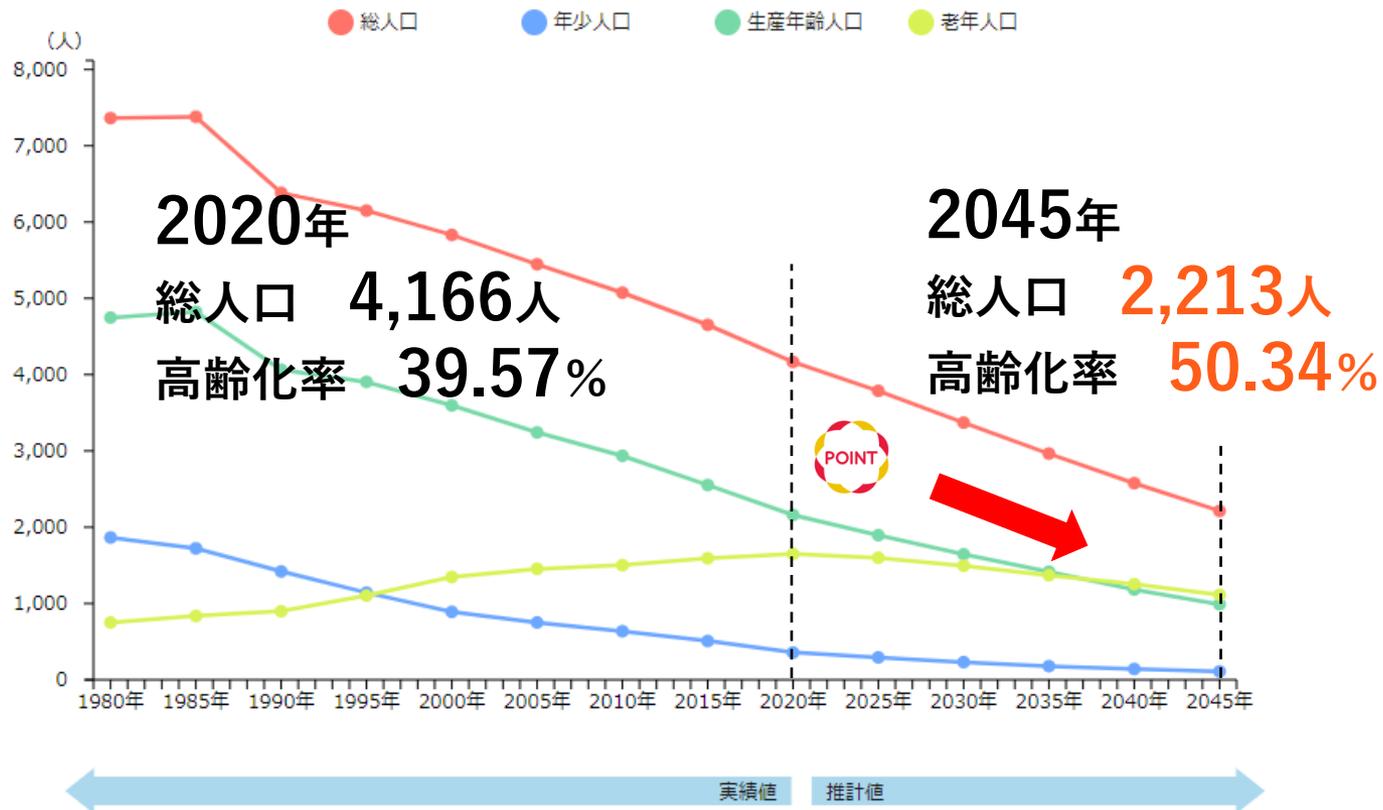
北海道最古の温泉
「知内温泉」



高齢化率50%超の限界集落に

知内町の人口は、急速に減少しており約20年後には半減してしまう見込みです。
また、**老年人口割合が50%を超え**、いわゆる**限界集落**となってしまう可能性があります。

知内町の人口推移

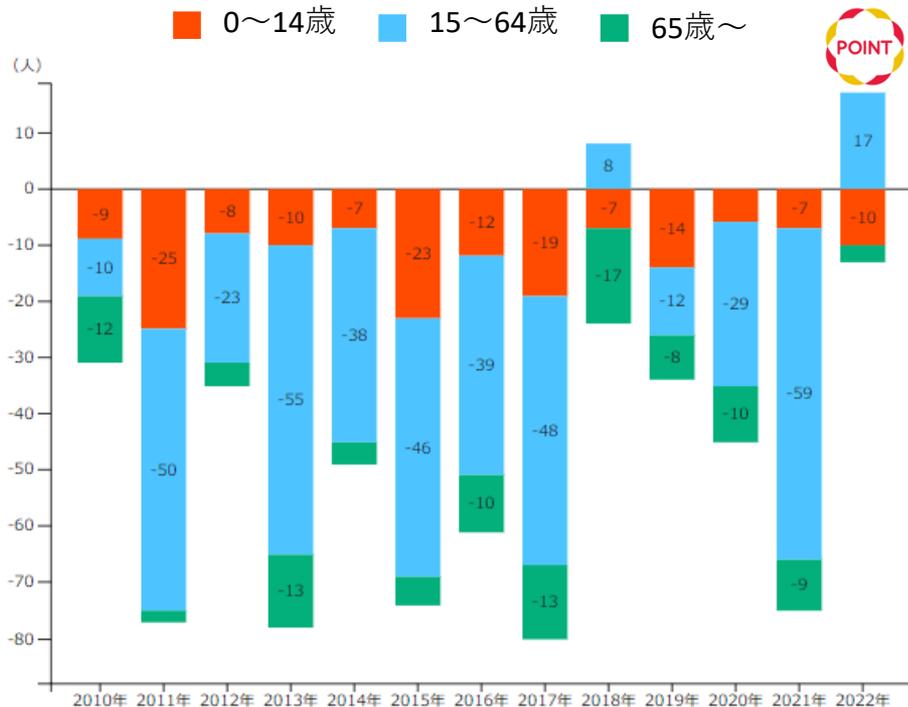


27年ぶりに社会増減がプラスに転じる

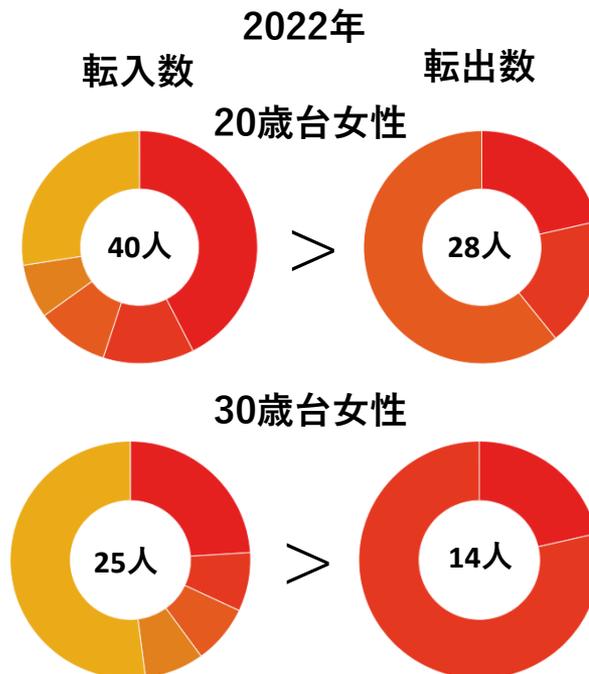
知内町は1996年以降（知内町人口ビジョンより）社会減が続いていましたが、**2022年に27年ぶりに社会増**となりました。特に**女性（20～30代）の転入**が増加しています。

町の進める**子育て政策、移住定住促進政策、就労支援施設の利用者**が増加したことなどが要因であると推察されます。

知内町の年齢階級別人口の純移動数



From - to分析（定住人口）



20台～30台の女性が転入超過

魅力的な高校があるが卒業後は町外へ転出

27年ぶりの社会増となった知内町ですが、**20歳代未満の若年層は依然として転出超過が進んでいます。**町立高校である知内高校は、野球部、吹奏楽部などの部活動が盛んであり、**町外からの入学者も多数いる魅力ある高校**です。しかし卒業後の進路は町外への進学、就職が大多数であり、**町内に残る生徒が少ない**といった特徴も見受けられます。

町立知内高等学校

全校生徒 約160名



過去には甲子園出場もした道内野球の強豪校
2022年にはプロ野球選手も輩出！！

地域密着型の授業で考える力も育む

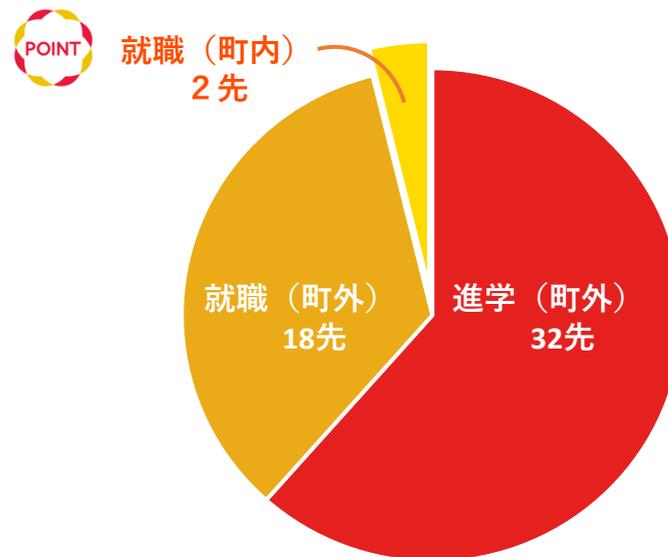
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 1学年 【地域理解】(Local)
地域を活かし地域を学ぶ…就労体験 他
- 2学年 【国際理解】(Global)
国際的な視野の確保…SDGs授業 他
- 3学年 【地域貢献】(Global)
国際的な視野を持ち地域課題解決を学ぶ…高校生議会

地域密着型授業に積極的

知内高校の主な進路先

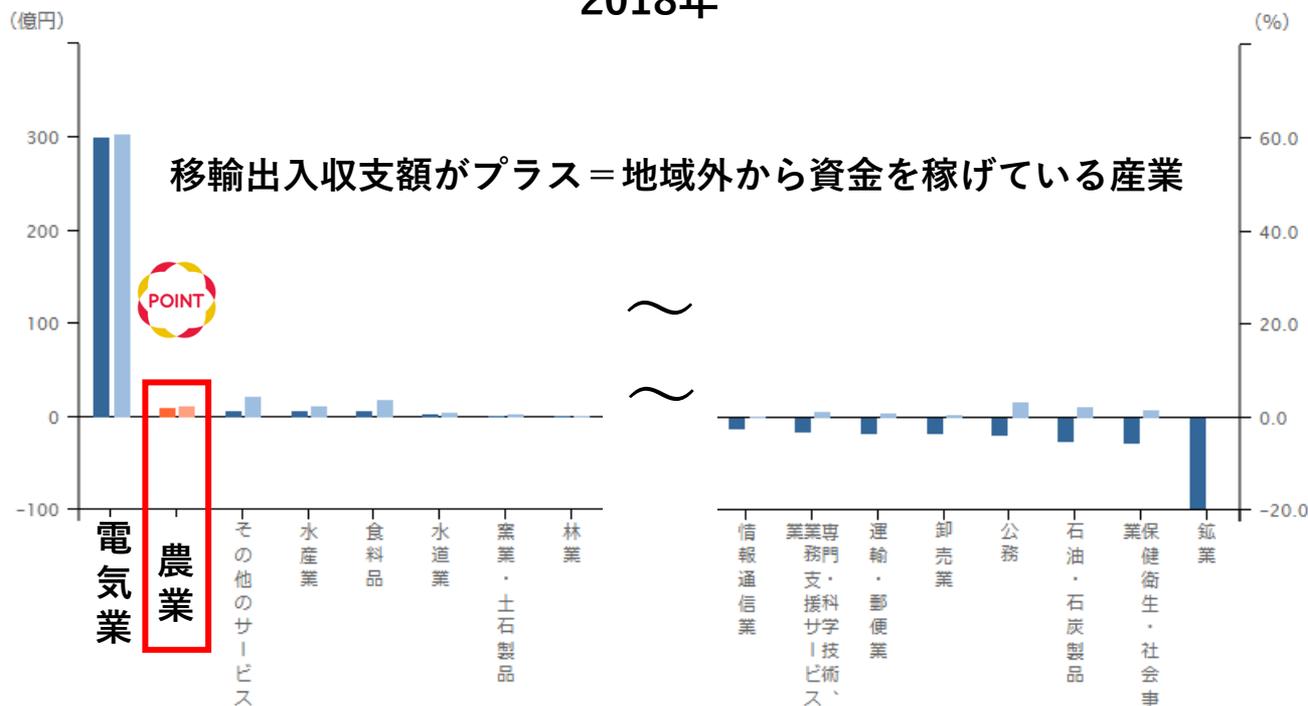
2022年
n = 52



農業は外貨を稼げる基幹産業

知内町の産業別移輸出入収支額は、電気業を除いた（火力発電所があり電気業の比率が突出しているため）**地場産業の中では、最も移輸出入収支額が高くなっています。**このことから**農業は地域外から資金を稼げている知内町の基幹産業**であることがわかります。

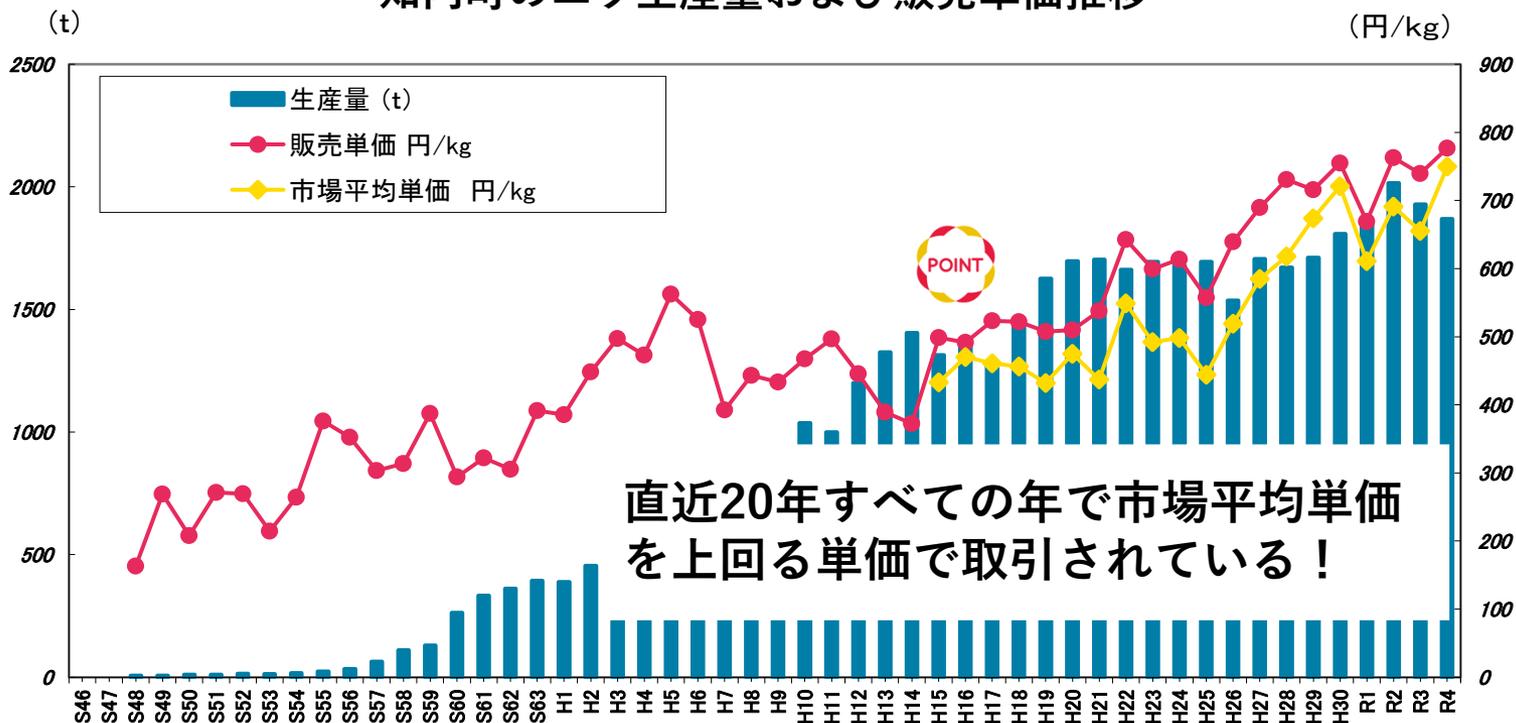
知内町の移輸出入収支額（産業別）
2018年



知内のニラは高単価のブランド野菜

知内町のニラの生産量は昭和48年に生産開始以降右肩上がりに増加し、R2年に生産量2,000 tを達成しました。また、全国の市場平均単価を上回る**高単価**で取引されており、**知内ブランド**として**市場でも高く評価**されています。

知内町のニラ生産量および販売単価推移



出典：生産量及び販売単価 JA新函館提供データより作成
市場平均単価 東京中央卸売市場月報データより作成

共同精神、団結力に基づいた取組

知内町のニラ「北の華」がここまでの成長をとげてこられたのは、「**知内町ニラ生産組合**」の**組織力、団結力の強さに基づいたもの**です。確かな品質を提供するための厳格なルール作りはもちろんのこと、生産技術の共有（定例勉強会、マニュアル作成）、若手生産者育成、共同のハウスビニール掛け、生産効率化のための機械導入支援、肥料や資材の取りまとめ一括購入など、**共同精神、仲間意識を大切に様々な課題を解決するための取組み**を行っております。

取組事例 共同のハウスビニール掛け



3日間で**700棟以上**のハウスにビニール掛けを行います！

地域団結の力で**1棟5分程**で作業します！

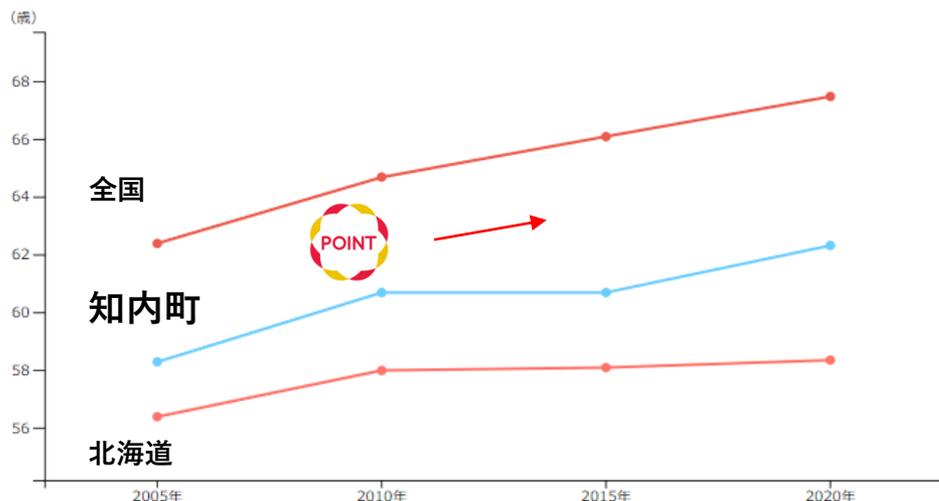
※少人数で行うと**1時間以上**かかる作業



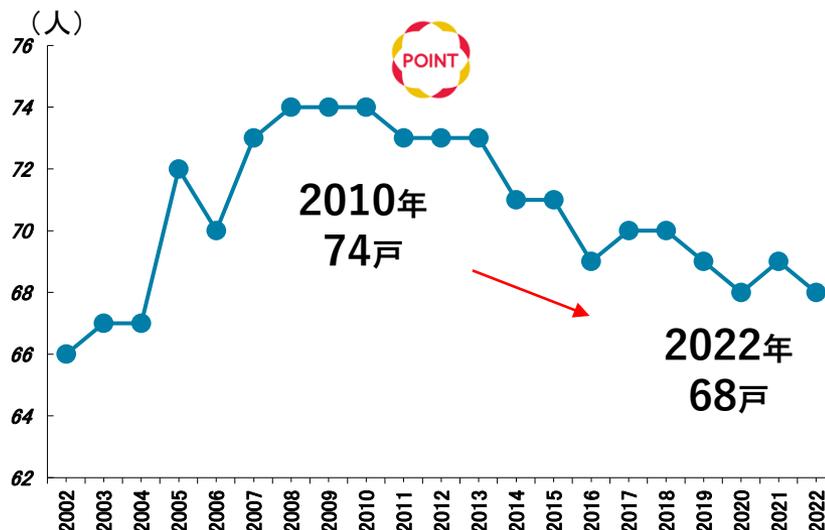
農業経営者の高齢化と廃業の増加

知内町の農業経営者の平均年齢は全国的な潮流と同様に高齢化傾向にあります。また、知内町のニラ栽培農家数は2010年をピークに減少傾向にあり、高齢化の影響を受け廃業する農家が増加しております。現在は一経営体あたりの規模が大規模化することにより、対応することはできておりますが、今後も廃業数は増加していく可能性が高く、新たな担い手を確保することが必要となっております。

農業経営者の平均年齢



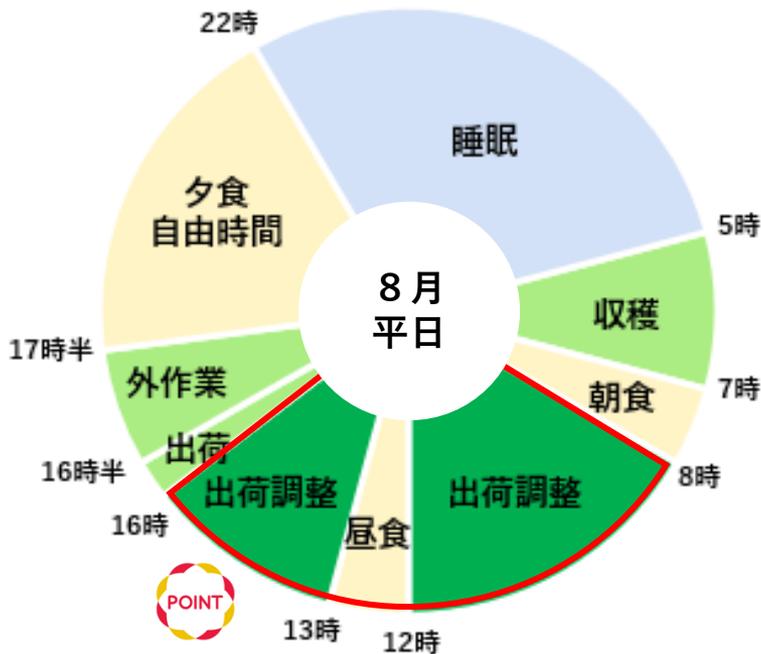
知内町のニラ栽培農家数



出荷調整（そぐり）作業に時間がかかる

ニラを出荷するには、①収穫→②そぐり（選別、外葉処理）→③計量、結束→④包装といった作業が必要になります。知内町では作業効率化のため2017年より①～②を農家、③～④を共選場で行う体制となり農家の負担が軽減されました。また、近年ではそぐり機の導入もあり、作業の効率化が図られております。しかし、それでもなお、そぐり作業には多大な時間と労働力が必要となっております。

ニラ農家の1日



1日の仕事の大半はそぐり作業

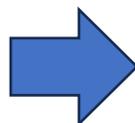
そぐり作業



そぐりとはニラの外葉を取り除く等、製品にするために必要不可欠な作業です。上図は近年導入されたそぐり機を使用した作業風景です。

そぐり作業のイメージ

作業前



作業後



ニラで知内町を持続的に豊かな町に

今後の知内町のニラ農業の方向性を検討するにあたり、若手生産者の立場から知内町ニラ農業のミッション（使命）、ビジョン（理想の姿）、バリュー（価値）を検討しました。

Mission

知内を持続的に豊かな町に

Vision

安定した生産体制、新たな担い手人材、
時代に合わせた雇用を創出

Value

高品質、高単価、共同精神、
団結力、仲間意識、新たな挑戦

ニラ農業の使命、理想の姿を実現する施作を検討する前に、**SWOT分析**を行い現状を整理しました。

SWOT分析 ～知内町農業（ニラ）～

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	強み (Strength)	弱み (Weakness)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化がすすんでいる（高単価） ・他産地と比較し寒冷かつ湿度が低い気候での栽培が可能（高品質） ・組合による管理徹底、効率的な生産活動（栽培技術の共有、品質管理、共同精神、団結力） ・町としては全国でもトップクラスの収量 ・通年収穫可能 ・新規参入ハードル低い ・力仕事と比較的少ない（女性も活躍できる） ・近年移住者が増加傾向 ・町立高校の存在（地域教育がしやすい、野球部が強豪であり他地域からの入学者も多い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・急速な人口減少、少子高齢化 ・経営者の高齢化、廃業の増加、担い手不足 ・町立高校から農業関係への就職が少ない ・雪の多い気候 ・廃棄ニラの増加 ・出荷調整作業に多大な時間がかかる ・機械化しづらく労働力が必要な生産体制（専門機械が少ない、現時点での生産方法だとスマート農業化が進まない） ・ニラの臭いがきつい ・発信力不足
外部要因	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、田舎暮らしブームによる移住者の増加 ・外部機関との繋がり増加 ・外国人労働者の増加 ・高齢者の労働参加 ・スマート農業の発展 ・ICTの発展 ・海外取引の増加 ・ふるさと納税、クラウドファンディングなどの仕組の充実 ・各種ブーム（健康、アウトレットなど） ・取材の増加 ・SNSの発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料、資材などの高騰 ・温暖化の影響による品質低下 ・異常気象 ・全国的な人口減少 ・他産地の成長、大企業の参入 ・移住者、外国人確保の競争激化 ・風評被害

ニラ農業の使命、理想の姿を達成する**具体施作を検討**するため、**クロスSWOT分析**を行いました。

クロスSWOT分析 ～知内町農業（ニラ）～

	強み (S)	弱み (W)
機会 (O)	強み (S) × 機会 (O)	弱み (W) × 機会 (O)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町立高校向けに農業経営の授業を実施 ・ ふるさと納税商品開発、新事業実施時クラウドファンディングによる資金調達 ・ 女性就農希望者への積極的な情報発信、就農体験事業 ・ 地域おこし協力隊からの新規就農事業（実績有） ・ 農福連携の推進 ・ 若手生産者によるSNS情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人労働者の受入体制の整備 ・ 廃業予定者と若手就農者のマッチング ・ 廃棄ニラを活用した商品開発 ・ 出荷調整の委託システム ・ アウトレット商品の提供開始 ・ 高齢者向けの労働環境整備 ・ 研究機関と連携したスマート農業推進 ・ 婚活などによる移住定住促進
脅威 (T)	強み (S) × 脅威 (T)	弱み (W) × 脅威 (T)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド力を活かした強気の販売姿勢 ・ ニラの収益力、新規参入ハードルの低さを活かした移住定住政策 <p>  様々な施作が考えられる中、地域課題（人口減少、少子高齢化）にも効果が高いアイデアを重点的に検討することにしました。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産体制の見直し ・ 新品種の導入、開発支援 ・ 出荷調整作業の外部委託 ・ 出荷調整企業の誘致

ニラ農業の課題

- ①廃業増加 ②担い手不足 ③労働力不足 ④そぐり作業

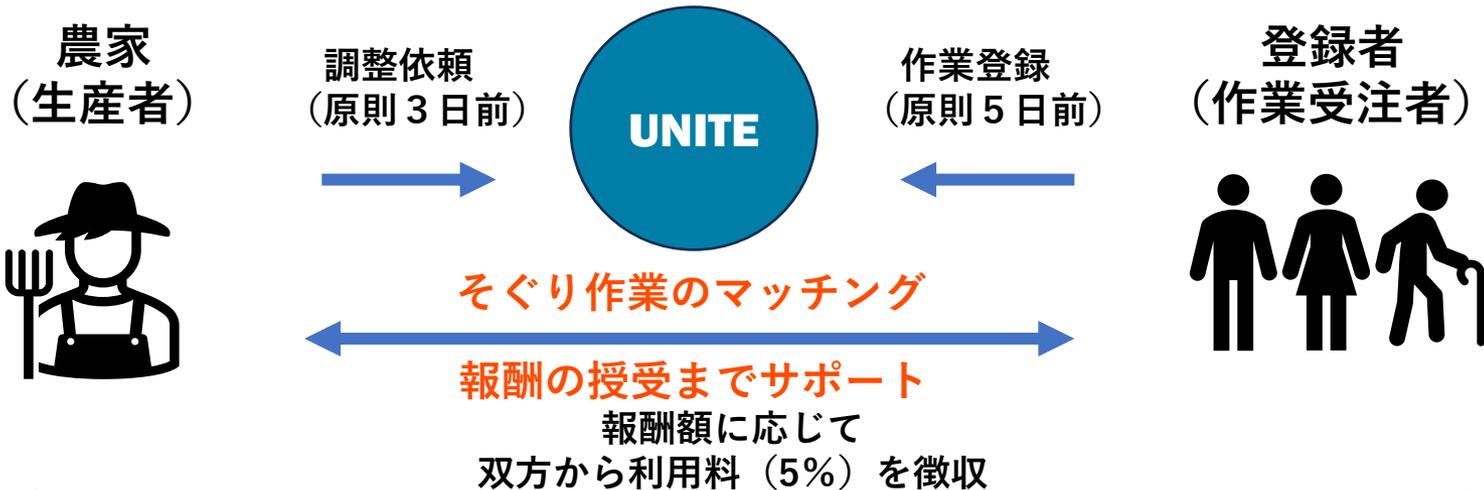
政策提案 (解決策)

地域一体型農業で豊かな町に

	出荷調整マッチングシステム 「UNITE」	地域農業経営塾 「知内塾」
対応する課題	①、②、③、④	②
概要	ニラの出荷調整のマッチングシステムにより地域全体がそぐり作業に参加できる体制を作り上げる。そぐり作業の効率化、町民の労働参加、廃業農家の農業参加、新規就農のハードルをさげるなどの効果が期待できる。	高校生の農業への興味関心を高めるため、若手農家主導で長期間に渡って農業と関わることのできる農業塾を企画運営。若手農家である自分たちだからこそできる活動により将来の担い手候補を創出する。
先行事例	高知県×清水建設×農林中金 ニラの生産量全国一でありながら、農家戸数の減少という課題へ対応するため、官民連携のもと出荷調整完全委託のそぐりセンターを開設（運営：シミズアグリプラス(株)）。	北海道農協青年部協議会 小学校、中学校、高校の先生および児童向けに農村ホームステイを開催。若手農家主導で実際の農業を体験してもらう活動を展開。

出荷調整マッチングシステム「UNITE」により 地域全体でのそぐり作業を可能にします。

将来的な人材不足を根本的に解決するのは困難です。その中でも安定した生産量、労働力を確保するためには地域全体で協力することが必要不可欠。そのような思いから地域全体がそぐり作業に関わる受発注システム「UNITE」を提案します。



- ・ 自身で調整しきれないニラを外部へ発注することが可能
- ・ 安定した雇用が確保できない農家でも生産量を確保できる
- ・ 登録者数が増加すればそぐりの完全外部委託も可能

- ・ 自身のスケジュールに合わせた受注が可能であり働きやすい
- ・ 時給制ではなく完全出来高制能力の高い人はかなり稼げる
- ・ 農業特有の力仕事や外作業がなく女性、高齢者も気軽に利用

出荷調整受発注システム「UNITE」は 廃業農家、新規就農者の生活を豊かにします。

UNITEは廃業農家、新規就農者にとって特に活用メリットが大きいシステムです。それぞれの生活リズムに合わせた作業スタイルをとり収入を得ることができます。また、作業委託が可能になれば、新規就農時の設備投資を抑えることもできるため新規就農のハードルを下げることに繋がります。

(例) 廃業農家（高齢）の悩み

- ・農業に体力がついていけなく、後継ぎもないので引退を決意。人生100年時代、本当はまだまだお金が必要。けど体力が不安で外に働きにでるのは厳しい・・・

↓ UNITEを利用

体力に無理のない範囲で作業
(自宅の作業小屋で！)

150円/kg 利用料5%の条件で、
30kg/日 10日/月 作業した場合

$150円 \times 30kg \times 10日 \times 0.95$

42,750円の収入

(例) 新規就農者の悩み

- ・ニラは通年収穫可能で安定した経営ができるけど、1年目は収穫まで時間がかかる。アルバイトしたいけど圃場の管理もあるから中々難しくお金の困っている・・・

↓ UNITEを利用

外作業の合間に作業
(次年度からの練習にも！)

150円/kg 利用料5%の条件で、
50kg/日 15日/月 作業した場合

$150円 \times 50kg \times 15日 \times 0.95$

106,875円の収入

出荷調整受発注システム「UNITE」は 地域に新たなビジネスを生み出します。

UNITEで地域の出荷調整作業のマッチングを行うことにより、福祉施設、高齢者施設などと連携をスムーズに行うこともできるため、町内に新たなビジネスを生み出すこともできます。また、地域住民の参加や他業種との連携を見据えるなかで、共同の作業スペースを確保することも重要です。

ニラそぐり版 coworkingスペース「そぐり小屋」の提案

コンセプト：好きなときに好きな人と交流しながらお金を稼ぐことができる作業場

運営：知内町役場

ターゲット：高齢者層、主婦層、農業経営者など

設備：1F 旧そぐり機10台程度 シャワールーム 更衣室 洗濯機
2F 交流ルーム 休憩室

その他：空き家や余っているそぐり機を活用

福祉施設などの貸切（別途費用）にも対応

UNITE利用者に限らず、自身でニラを持ち込み作業することも可

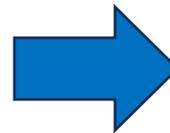


データは関係なし！？ここからは「想い」の提案！！ 若手農家が高校生にリアルな地域農業を伝えます！

知内町の町立高校である知内高校。地元でありながら直接の接点は少ないこの状況。町立高校から地元農業への就職が少ないのは、若手生産者である私たちが地域農業の魅力が伝えられていないからだと思えます。そんな状況を少しでも変えるため私たちが行動をおこします。

よくいわれる農業のイメージ

- ・きつい
- ・難しい
- ・汚い
- ・危険
- ・稼げない



伝えたい農業のイメージ

- ・楽しい
- ・やりがい
- ・おいしい
- ・稼げる
- ・かっこいい先輩

どうやって伝えるのか・・・

交流する



勉強する



作業する



食べる



地域農業経営塾「知内塾」は 若手農家主体で運営する地域農業体験プログラムです。

農業の魅力を伝えるには、単発の取組ではなく継続した取組が必要だと考えます。そこで1年間にわたって農業と関わることのできる学習プロジェクト「知内塾」を提案します。



開催時期 4月
参加者 知内高校2年生
開催内容 本事業の説明
若手農家と高校生の
交流会

- ・直接ヒトをしっかりとらう機会
- ・ざっくばらんな交流で親しみやすく
- ・ただの懇談ではなくボードゲーム等を通して交流
- ・本事業の宣伝、参加者集め



開催時期 5月、7月、9月
参加者 本事業参加者
(5名程度)
開催内容 知内農業の特徴
栽培の流れ
経営の実態

- ・座学、グループワークにより知内農業の特徴、実態を伝える
- ・高校生のもつ悩み、疑問に若手農家が素直に応える
- ・良いことだけでなくリアルな課題も共有



開催時期 6月～3月
参加者 本事業参加者
(5名程度)
開催内容 農業体験
(定植、収穫、そぐり、
ハウスかけ等々)

- ・参加者には実際に賃金を支払う
- ・アルバイト感覚の参加もOK
- ・ニラ栽培1年間の作業を実体験
- ・収穫物を実際に料理して食べる体験も

地域の関係者の皆さまから本活動についてコメントをいただきました。
まだまだ検討すべき点は多いですが、今後は実現にむけて動き出していきます。

知内町長 西山 和夫 様



プロジェクトの成功に向けて町も応援

小さな町からの「若手農家の本気」ワクワクしますね！
地域一体型農業の提案に賛同し、農業者と連携することで更なる協力体制を構築し、プロジェクトの成功に向けて、町も応援致します。
「大地に踏ん張れ、若者達よ！」

JA新はこだて南渡島地区運営委員長 大嶋 貢 様



自由な考え、大胆な発想、斬新なアイデア

自由な考え、大胆な発想、斬新なアイデア。
若い力に大きく期待しています。

知内町ニラ生産組合組合長 北島 道男 様



若い世代の発想力と行動力に今後も期待

若い世代が地域の課題や将来のビジョンに真剣に向き合っている姿は大変心強く感じました。
若いからこそその発想力と行動力を活かし共に次の時代に繋げていきましょう。